

義務教育学校整備検討委員会 第5回会議録

日時：令和7年11月19日（水） 18時00分～19時30分

場所：厚沢部町図書館 視聴覚室

出席者：

検討会委員

近藤良信（社会教育委員長・民生児童委員）
高田一弥（厚沢部商工会長）
山田克哉（館小学校運営協議会会長）
西口智章（こども園・館小学校保護者代表）
玉置英樹（町校長会長、町教研会長）
大滝英樹（館小学校長）
荒谷真一（厚沢部小学校教頭）
平本大城（こども園保護者代表）
西山訓央（厚沢部小学校保護者代表）
八重樫明美（厚沢部小学校保護者代表）
宮本修太（保健福祉課こども園児童指導員）
宮脇いずみ（地域魅力化コーディネーター）

事務局職員

高野政人（教育長）
二宮和之（事務局長）
太田聡子（事務局主幹（学校教育））
加藤一義（指導主事）
山田蒼良（学校教育係）
中野健二（建設水道課建築アドバイザー）

オブザーバー

安田 光（総務財政課長）
安達達也（保健福祉課長）

支援業務委託先

平井聡一郎（未来教育デザイン）

委員欠席者

香川直樹（厚沢部中学校運営協議会会長）
太田滋子（社会教育委員副委員長・人権擁護委員）
尾山浩崇（厚沢部小学校運営協議会会長）
中川一秀（政策推進課主幹）
橋端純恵（保健福祉課主幹）

1 開会・挨拶

近藤副委員長より、挨拶があり、今回の会議の目的について説明があった。

2 議事内容

(1) 前回投票結果の報告

ア 投票結果

第1位：厚沢部中学校敷地（1位9名、2位8名）

第2位：ひまわりの丘公園敷地（1位5名、2位3名）

第3位：図書館・総合体育館敷地（1位2名、2位6名）

第4位：厚沢部小学校敷地（1位1名、2位0名）

合計点が高い場所を選定する方式により、厚沢部中学校敷地が第1候補地として選ばれた。

イ その他：町づくり座談会（全6か所）で説明を行ったところ、洪水想定区域に入っているため、浸水対策や防災施設の整備を求める意見があったが、厚沢部中学校敷地を建設地とすることに反対する意見はなかった。また、11月26日にこども園、小中学校保護者を対象とした説明会を開催予定である。

(2) 基本計画(案)の説明

事務局より説明があった。

ア 配置案

① 校舎：2階建て（一部3階に電気室・機械室を配置）

② 体育館：既存の中学校体育館をリノベーションし、新校舎と渡り廊下で接続

③ グラウンド：農協側に小規模グラウンドを配置

④ 旧校舎跡地：解体後、広場や園庭として活用

イ 必要諸室

① 普通教室（1～9年生）

② 特別教室（音楽室、理科室等）

③ 職員室

④ ライブラリー

⑤ エントランス

⑥ 食堂室

⑦ 学童保育室

具体的な部屋の配置やレイアウトは、次年度の基本設計の中で、委員や関係者の意見を聞きながら決定していく。

ウ 平面図

1階：教室、職員室、特別教室、ライブラリー、学童保育室等

2階：音楽室（ステージ併設）、サブアリーナ、その他の特別教室等

3階：電気室、機械室（一部）

(3) 建設費用の説明

事務局より、現段階での工事費概算の説明があった。

※体育館の改修内容や教室構成により、最終的な金額は変動する。

※アスベスト処理の状況によっても解体費は変動する。

(4) 今後のスケジュール

令和8年度～：基本設計

令和9年度～：実施設計

令和10～11年度：建設工事(約2年間)

令和12年度中：開校予定

今後、部会を設置し、具体的な工事設計や内容を詰めていく予定。

(5) グループワーク

委員が3グループに分かれ、配置案と概算工事費について意見交換を行った。

① テーブル1の意見

- ・ グラウンドは100mトラックが取れるか検討が必要
- ・ 体育館を解体すれば、広場や芝生広場を広く取れる
- ・ 防災機能の活用や町民開放、集会スペースとしての活用も可能
- ・ セキュリティ対策が必要(不審者の侵入防止等)
- ・ 教育委員会は別の場所にした方が良いとの意見

② テーブル2の意見

- ・ 敷地を広くする必要性について再検討すべき
- ・ 園児や児童は地域の農家の畑で体験学習をしており、校内に大規模な農園は不要かもしれない
- ・ ワークスペース(サードプレイス)を充実させ、移住者や地域住民との交流拠点にする
- ・ 学校内にカフェやポットラック的な機能があっても良い
- ・ 普通教室は1～9年生まとめた柔軟な運用も検討すべき

③ テーブル3の意見

- ・ 広場も含めて1階建てか2階建てか、それぞれの長所短所を検討
- ・ 現在の校舎敷地に建てて、グラウンドをもっと広く取る方が良いとの意見
- ・ 子ども数を考えるとコンパクトな方が良いとの意見もあり

(6) 質疑応答

質問1：開校時期について、校舎が完成する前に分離型で運営することも考えられるか。

回答：令和12年4月開校を目指しているが、工事の進捗状況によっては、分離型運営も選択肢として考えられる。その場合、子どもたちの学習環境をどう確保するかが課題となる。

質問2：予算は本当に確保できるのか。10～15年かけても財政は大丈夫か。

回答：財政計画を慎重に検討する必要がある。実現可能な計画を策定していく。

質問3：グループワークで出た意見は、基本設計にどう反映されるのか。

回答：皆さんの意見を基本計画に盛り込み、基本設計の段階でさらに具体化していく。柔軟に対応していきたい。

3 その他

事務局より、次年度組織体制について説明があり、次回の検討委員会で検討することとなった。

4 今後の予定

ア 日時：令和7年12月17日(火) 18時～

イ 場所：図書館視聴覚室

5 閉会

副委員長より閉会の挨拶があり、第5回検討委員会は終了した。